

報道機関各位

## 令和7年（1月～12月）における災害統計の速報値について

令和7年（1月～12月）における災害統計を取りまとめたので、お知らせします。

### 1 火災 【火災件数は229件で、死者は北九州市発足以降、最少】



令和7年中の火災件数は229件で、前年と比較して9件（4.1%）増加しました。このうち住宅火災は85件で、前年より1件（1.2%）増加しています。

火災による死者数は5人で、前年より12人減少し、平成30年と並び北九州市発足以降、最少の人数となっています。このうち住宅火災による死者数（放火自殺者を除く。）は統計を取り始めた平成5年以降、最少の2人で、前年より12人減少しています。また、火災による死者のうち4人（80.0%）が65歳以上の高齢者となっています。

«出火原因の1位は「こんろ」、続いて「たばこ」»

順位	原因	件数（割合）
1	こんろ	29件（12.7%）
2	たばこ	28件（12.2%）
3	放火・放火の疑い	26件（11.4%）
4	電気機器	17件（7.4%）
〃	たき火・火入れ	17件（7.4%）



### 2 救急 【救急出動件数は63,958件で、過去2番目に多い】



令和7年中の救急出動件数は63,958件で、前年と比較して905件（1.4%）減少しました。これは、過去2番目に多い件数であり、1日あたり約175件、約8.2分に1回、救急車が出動したことになります。また、医療機関へ救急搬送された患者のうち、入院の必要がない軽症患者は40%でした。

消防隊が救急現場に出動する「あかきゅう出動」は5,944件で、前年と比較して123件（2.0%）減少しました。



### 3 救助 【救助出動件数は558件で、出動件数、救助人員ともに増加】



令和7年中の救助出動件数は558件で、前年と比較して56件（11.2%）増加しました。

出動件数（558件）の事故種別は、1位「建物等による事故」253件（45.3%）、2位「火災」96件（17.2%）、3位「交通事故」78件（14.0%）となっています。

北九州市において出動件数、救助人員ともに最も増加した事故種別は「建物等による事故」（出動件数昨年比17.7%増）です。その要因は、「建物等による事故」のうち、単身世帯又は同居家族が外出中の住宅において、施錠された状態から、急病人を救出する事案が増加したためです。



#### 【問い合わせ先】

(火災)

予防課長 澤田  
火災調査係長 平井  
TEL 093-582-3836

(救急)

救急課長 吉木  
救急係長 景山  
TEL 093-582-3820

(救助)

警防課長 森  
救助係長 友田  
TEL : 093-582-3817